

敷島しきしまの
(本居宣長もとおりのりなが)

解説 春風に散る桜花の潔さは、古来、武人の象徴とされるわが大

和民族の心を桜花によせて、その国民性を詠い上げたもの。

敷島しきしまの
大和やまと心こころを
人ひと問とわば

語釈 ※敷島Ⅱ日本国全体の国名。 ※大和心Ⅱ日本人が持つて生まれた心。 ※人問わばⅡ人に尋ねられたら。

朝日あさひに
匂におう
山桜やまざくら
花はな

通釈 わが大和心を、もし人に尋ねられたなら、それは朝日に映えて麗しく咲き匂う山桜のようなものだ、と答えよう。